

# 大牟田市立宅峰中学校

## 1 本校のESDの特徴

本校では、問題解決力、体系的な思考力（問題や現象の背景の理解、多面的・多角的なものの方）を育てることをねらいとし、総合的な学習の時間の「学びの旅」や生徒会活動の取り組みを通して、持続可能な発展に関する価値観（人間の尊重、多様性の尊重、非排他性等）を見いだす力を身につけるようにしている。

また、各教科、道徳の時間、特別活動を通して、考え方や立場の違いを尊重しながら協働的に課題を解決したり、より良い人間関係をつくり出す力を身につけたりさせたい。

## 2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

	単元名	具体的な活動内容
1年	「誰もが安心して暮らせるまちづくりに ついて考える」 ○ 福祉に関する学習 ○ 防災減災に関する学習Ⅰ	・大牟田市の福祉総合計画をもとに福祉に関する仕事の概要理解 ・様々な立場の人達を支えている仕事についてG T（誠修高校保育科、有明高校福祉科・看護科、久留米大学社会福祉学科、九州看護大学など）による講話・ミニ体験 ----- ・消防署、防災危機管理室からG Tによる講話及び体験的活動（避難所運営実動訓練 他）
2年	「地域の方から働くことの意義を学ぶ」 ○ 職業に関する学習 ○ 防災減災に関する学習Ⅱ	・事業所（サンフレンズ、だいふく、FMたんと、延命動物園）の方々をG Tとして招き、学んだことをまとめ・発表 ----- ・家庭科「災害に備える住生活・食生活」
3年	「炭鉱関連施設から学ぶこと」 ○ 地域の文化財（世界遺産）に関する学習 ○ 人権に関する学習（地べたの人々の声を聴く） ○ 防災減災に関する学習Ⅲ	・世界遺産に登録された意義についての講話。（市世界遺産文化財室 宮本氏による zoom 学習） ・校区内の炭鉱関連施設のフィールド・ワーク後、個人新聞作成、掲示 ----- ・普通救命講習会（市消防本部・消防団による）

## 3 特徴的な活動事例の紹介

### (1) テーマ：防災減災に関する学習（全学年）



第1学年では市消防本部や防災危機管理室による講話を聞き、地域のハザードマップ作成や応急処置、避難所開設 実動訓練などテーマ別学習を行った。第2学年では家庭科「災害に備える住生活・食生活」での非常食作りを、第3学年では「救命救急講習」を受講することで、自他の「いのちを守る」ために必要な知識・技能を習得した。

#### 【具体的な取り組み・第1学年】

- ① 避難経路の確認と災害情報の収集方法（学級）
- ② 避難所の備蓄物資と非常用持ち出し袋（体育館）
- ③ 消防署と消防団の活動と簡易担架等の作成（多目的）

※ 3つのグループ（1・2組，3・4組，5組）のローテーションで①～③の活動に取り組む

- ④ 避難所運営図上訓練（体育館）
- ⑤ 避難所運営実動訓練（体育館）
- ⑥ 学習の振り返り（学級）



写真1 避難所運営図上訓練の様子



(2) テーマ：福祉に関する学習（第1学年）

高齢者福祉に対する考えや知識を深めるために、大牟田市の福祉総合計画などをもとに、大牟田市で暮らすさまざまな立場の人たちを支えている市役所・福祉施設職員の講話や福祉系のコースをもつ高校生や大学生との座学を通して、それぞれの仕事や資格取得に向けて学んでいることについて理解を深めた。

#### 【具体的な取り組み】

- ① G T（市役所の福祉関係各課）から大牟田の特徴的な活動の紹介
- ② G Tメンバーによる5つのチームが各教室を移動しての講話（40分×5学級）
  - ・その仕事をするための資格や資格取得に向けて学んでいることなどを紹介・看護体験
- ③ 学習の振り返り（学級）



写真2 G Tの指導による看護体験の様子

(3) テーマ：地域の文化財（世界遺産）に関する学習（第3学年）

本校の周辺には炭鉱に関連した施設等を訪問することで、炭鉱で懸命に働いた人達の様々な苦難（人権問題等）を知るとともに、そのような状況の中で炭鉱を中心とした産業（石炭化学コンビナート）により、大牟田が発展してきたことを理解することができました。

#### 【具体的な取り組み】

- ① 校区内の炭鉱関連施設（5カ所）で児童・生徒支援加配教員による説明
- ② 現地での見学・調査による学習のまとめ（新聞づくり）



写真3 炭塵爆発犠牲者碑前で説明を聞く様子

## 4 本年度の成果と課題

### ○成果

- ・「誰もが安心して暮らせる大牟田」を目指すために、1年生での学習内容と3年生での学習内容を関連づけさせたことで「多様性や周りの人とのつながりの大切さ」を考えさせることができた。

### ○課題

- ・防災減災に関する学習では、次年度以降、2・3年生での学習内容を再構成する必要がある。
- ・3年間を通して、「自分の立場を自覚し、社会の一員として地域作りに参画する実践力の育成」に向けて、2年生での学習内容をコロナ禍でも取り組める内容（職場体験学習以外）も検討していく必要がある。